



2026年10月30日

各 位

会 社 名 株式会社PEGASUS
代 表 者 名 代表取締役社長 美馬 成望
(コード番号：6262 東証スタンダード)
問 合 せ 先 専務取締役執行役員管理本部長 岡田 義秀
(TEL. 06-6451-1351)

2027年3月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

2026年5月13日に公表した2027年3月期通期連結業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2027年3月期通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,180	840	510	250	10.44
今回修正予想(B)	20,306	131	△122	△435	△18.15
増減額(B-A)	△1,874	△709	△632	△685	
増減率(%)	△8.4	△84.4	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	21,657	946	1,104	323	13.22

2. 修正の理由

通期連結業績予想につきましては、中間連結会計期間の業績に加え、現時点の需要動向等を踏まえ、売上高、利益ともに上記のとおり修正いたします。

売上高につきましては、アパレルマシナリー事業について、中国市場向けの復調が続き、欧州市場において販売の伸長もありました。しかしながら、主要マーケットであるバングラデシュやインド、その他アジア諸国において中東情勢の影響等から設備投資に慎重な姿勢が見られており、当初予想を下回る見通しです。

営業利益につきましては、アパレルマシナリー事業における売上高の減少に加え、オートモーティブ事業において、アジア市場における厳しい事業環境が継続するなか、原材料仕入価格高騰及び操業度低下に伴う製造コストの上昇により原価率が悪化し、利益率の低下が見込まれることから、当初予想を下回る見通しです。

経常利益につきましては、営業利益の減少に加え、為替相場の変動に伴う為替差損の発生により営業外損益が悪化し、当初予想を下回る見通しです。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の減少に加え、海外子会社における税金費用及び法人税等調整額の増加を見込んでいることから、当初予想を下回る見通しです。

3. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

基 準 日	1 株 当 た り 配 当 金		
	第2 四半期末	期 末	通 期
前 回 発 表 予 想 (2026年5月13日発表)	15円00銭	未定	未定
今 回 修 正 予 想		65円00銭	80円00銭
当 期 実 績	15円00銭		
前期(2026年 3 月期)	10円00銭	20円00銭	30円00銭

(2) 修正の理由

当社は株主の皆様への利益還元を最重要課題と考えており、継続的かつ安定的な配当を維持し、経営環境や業績を総合的に勘案した適正な利益配分に努めております。

今般、2027年3月期の業績予想を修正しておりますが、同日付で開示しております中期経営計画で掲げる2029年度のROE目標7.5%の達成に向けた原則DOE 6 %以上の配当とする株主還元方針を見据え、今期末においても前倒しで株主還元の充実を図ることといたしました。これにより、未定としておりました期末配当予想を65円とし、年間配当金（合計）を80円に修正しております。

今後も、「資本コストや株価を意識した経営の実現」に向け、資本効率の向上と財務健全性の維持を両立しながら、株主還元の充実に取り組んでまいります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上